

# 群馬ヤクルト SDGs パートナーシップ BOOK

2023年度版



地域の皆様と協力して持続可能な社会の実現をめざします



人も地球も健康に

**Yakult**

群馬ヤクルト販売株式会社

# 群馬ヤクルトを取り巻くSDGsの状況

エス ディー ジー ス

## SDGsって何?

(Sustainable Development Goals)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

SDGsとは持続可能な社会を実現するために国連で合意された世界共通の17の開発目標のことです。193の国と地域が2030年までの目標達成を目指しています。



17の開発目標のアイコンは世界共通です

今、地球は経済や社会、環境などさまざまな問題を抱えており、2030年までに地球が2つ必要になるといわれています。SDGs達成のためには各国・地域の政府だけでなく、企業・市民社会などが協力することが不可欠です。

エス ディー ジー ス

## ヤクルト本社とSDGs



ヤクルト本社は人が健康であるためには、人だけでなく水、土壌、大気などすべての地球環境、動植物も健康でなければならないと考え「人も地球も健康に」をコーポレートスローガンに制定しています。事業活動を通じて「世界の人々の健康に貢献する」ことを目指しています。

●ヤクルト本社の特に関係が深い5つの目標



世界各地で活躍するヤクルトレディ



プラスチック資源の循環 福島工場のエコステーション



工場でのCO<sub>2</sub>削減。岡山和気工場屋上に設置された太陽光発電



JAXAとの宇宙での共同研究 国際宇宙ステーション(ISS)

# 群馬ヤクルトとSDGs

SDGsは世界規模の目標ですが、一人一人ができることをみんなで協力して取り組むことが重要です。未来の子ども達が健康で過ごせる様に、群馬ヤクルトでは、従事者一人一人が協力してSDGs達成に取り組めます。



## ● 群馬ヤクルトの特に関係の深い6つの目標



**目標 3 健康と福祉を**  
健康に役立つ商品の販売・お届けを通じて、一人でも多くのお客さまの健康に貢献します。



**目標 4 質の高い教育をみんなに**  
子どもから高齢の方まで、さまざまな世代に正しい健康情報を提供します。



**目標 5 ジェンダー平等を実現しよう**  
ヤクルトスタッフの労働環境を整備し、女性が活躍する社会の実現を目指します。



**目標 8 働きがいも経済成長も**  
事業の生産性を高めつつ、従事者がいきいきと働く会社であり続けます。



**目標 11 住み続けられるまちづくりを**  
地域社会の一員として、住みよいまちづくりに貢献します。



**目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう**  
関係する皆様とのつながりを大切に、目標達成を目指します。

## TOPIC

# 経営理念とSDGs

群馬ヤクルトの使命は、一人でも多くのお客さまに「健康と美」をお届けすることです。創業時の想いや活動指針を信条にまとめ20年以上前から全従事者で取り組んでいます。ヤクルトの信条にはSDGsに通じる想いが込められています。

## 群馬ヤクルトの信条

- 一、お客さまの健康と美しさに寄与することが私たちの使命である。  
一人でも多くの人にご利用していただき満足と幸せを提供しよう。
- 一、お客さまから支持されるサービスを提供しよう。  
そして地域社会に心をこめて貢献しよう。
- 一、仕事を通じ人生の夢と目標を達成しよう。  
互いに協力し全員が幸せになろう。



# 2030年SDGs達成に向けて 環境への取り組み事例

● 貢献するSDGs

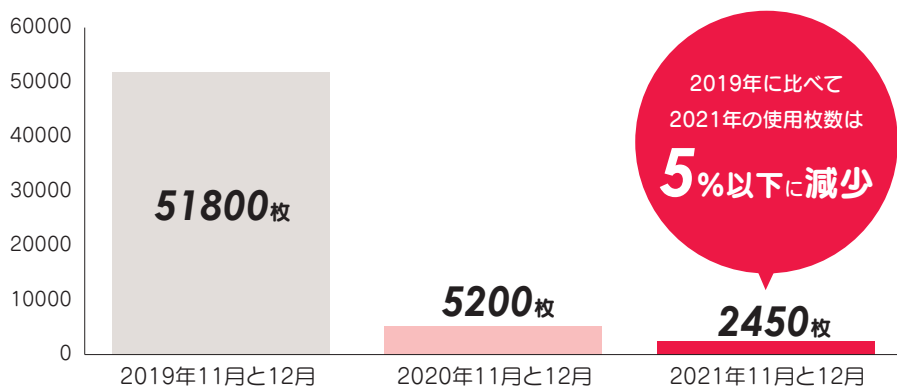


## 事例1 持ち帰り袋

### 使用枚数削減と素材の変更

持ち帰り袋の有料化と使用削減の協力のお願いをしています。素材も有害ガスが発生しないバイオマス素材のものに変更しました。2019年に比べて2021年の使用枚数は5%以下に減少しました。

#### ● 持ち帰り袋の使用削減状況 ●



## 事例2 プラスチックストロー

### 2品目から付属のストローを廃止

2022年3月にNewヤクルト5本パックとNewヤクルトカロリーーフ5本パックに付属されていたストローが廃止されました。  
※約420万本/年を削減。



## 事例3 化粧品容器リサイクル

2022年11月から基礎化粧品の空き容器回収をはじめました。回収時にポイントが付与され化粧品割引券として利用できます。

2022年11月～  
2023年12月 回収本数  
**18,450本**





SDG s アクション

1

# 対話による健康のお届け

ヤクルトのこだわりは直接商品をお届けすることです。対話を通じて自分の言葉で価値をお伝えしています。地域の集会場や病院、企業での健康教室や、学校などで食育に取り組んでいます。



● 県内 33カ所の拠点「サービスセンター」に約690名のスタッフが所属し日々元気にお届けしています

● 貢献するSDGs



健康や教育への取り組み多くの方々の関わりにおいてSDGsに貢献します。

ヤクルトスタッフによる住宅へのお届け



店頭での紹介



お取引先への納品・提案



## 健康教室・食育教室の開催



健康教室



企業にて従業員の方へ



美肌教室



学校でのおなか元気教室



未就学児向けの食育劇

TOPIC

「食育推進活動優良表彰」を受賞

群馬ヤクルトは 2011年から食育活動に取り組んでおり 2015年に群馬県から表彰していただきました。





SDG s アクション

# 2

## 社会貢献活動

地域活動への協力や社会貢献活動に取り組んでいます。地域のことをよく知るヤクルトスタッフは、地域の見守りの担い手として期待されています。



● サッカー Jリーグザスパ群馬を応援しています

### ● 貢献するSDGs



住みよいまちづくり・地域づくりに協力することで SDGsに関わっています。

### 税に関する取り組み



e-Taxによる確定申告の広報協力。2013年より毎年。2024年で11回目。

### 認知症への取り組み



認知症サポーター講習を全従業員が受講。

### 福祉ヤクルト



1995年より群馬県を通じて福祉施設へ寄贈。

### 集団献血



献血バスによる集団献血。(夏と冬に年2回)

### キャップの寄付



ペットボトルキャップ約2万個を回収・寄付。約140人分のワクチンに相当。

### 地域の見守りについて感謝状をいただきました



伊勢崎警察署より 還付金詐欺を未然に防ぐ 2022年 4月



渋川警察署より 車道の男児を保護 2021年 6月



高崎市等広域消防局より 迅速な判断で心臓マッサージによる人命救助 2020年1月

### 教育資材を学校に寄付



SDG s 私募債を活用して小学校に寄贈。(2022年9月)



渋川広域消防署本部より 重機に挟まれた高齢者の救助 2019年5月



渋川警察署より 保冷剤で熱中症の高齢者を救う 2018年 8月

### TOPIC

### 群馬県警察本部と「安全・安心パトロール協定」の締結

2005年から群馬県警と防犯協定を締結しています。





SDGsアクション

3

# 働きやすい環境づくり 健康経営の実現

従事者がやりがいをもって働けるよう、労働環境の整備に取り組んでいます。



2024  
健康経営優良法人  
Health and productivity  
ブライツ500

● 貢献するSDGs



健康経営、教育研修、女性の活躍、働きがいなどでSDGsに関わります。

● 経済産業省が設置する健康経営優良法人  
2024ブライツ500に認定されました

## キッズルームの整備



県内17カ所に設置。専任の保育士が預かります。

## 救急講習の受講



小児MFA  
保育士が専門的な講習を受講。

## 防災訓練



消防士による講習。全従事者が受講・訓練して、もしもの時に備えています。

## 90日チャレンジ



管理栄養士が寄り添いながら生活習慣の改善など指導します。

## スポーツに取り組む社員のサポート



ぐんまマラソンに協力・有志で参加。(毎年11月)



女子ソフトテニス。原野選手ががごしま国体に出場。(2023年)



女子サッカー県1部リーグのパレストラレディースに3名所属。

## お届け車両の配備



リース車両を使用できます。500台以上が利用されています。

## 週休3日制度



ヤクルトスタッフの休日について段階的に週休3日を導入。

## 健康診断受診勧奨



受診勧奨に力を入れており、啓発活動や健康情報を発信。

## 産前・産後休暇



安心して産前・産後休暇を取得できる環境の整備。

# 協定に基づいた県市町村との取り組み

各自治体と連携した具体的な取り組みを紹介いたします。



●おなかを守るヒーロー、ヤクルトマンは様々なイベントに登場します

## ●貢献するSDGs



健康、福祉、教育、まちづくり、人との関わり、共助などの SDGsに関わります。

## 群馬県と「健康づくり推進連携協定」を締結



群馬県(2016年12月)  
県庁にて締結

群馬県では、県民の健康寿命の延伸が重大な課題になっています。群馬ヤクルトは群馬県と健康協定を結び、県と協力して全国一の健康県実現のため、今後も力を尽くします。

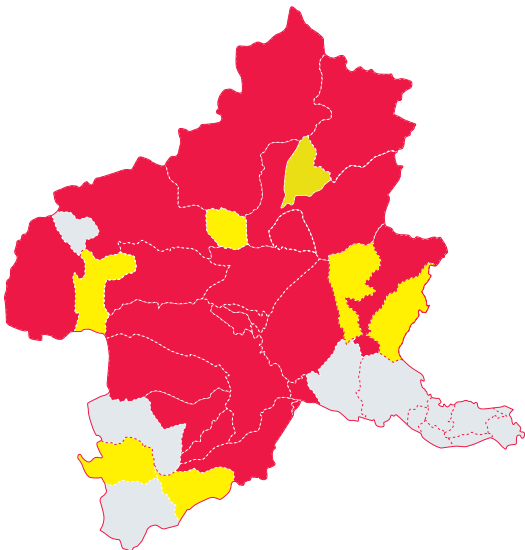


### 「健康づくり推進連携協定」の4項目

- 1.健康寿命の延伸県民運動「ぐんま元気(GENKI)の5か条」の推進に関すること
- 2.従業員や家族への健康づくりの積極的な推進に関すること
- 3.県が実施する健康づくり推進のための普及啓発活動等への参加・協力に関すること
- 4.その他、県民の健康づくり推進に向けた積極的な提案に関すること

2023年12月現在

1県9市8町7村と締結



■ は2023年に新たに締結した市町村

締結年月	自治体	協定名
2016年12月	群馬県	健康づくり推進連携協定
2017年9月	高崎市	健康づくりの推進に向けた連携協力に関する協定
2017年11月	玉村町	地域社会づくり連携に関する協定
2018年3月	藤岡市	健康増進及び福祉向上に向けた連携協力に関する協定
2018年6月	渋川市	連携協力に関する協定
2018年8月	安中市	連携協力に関する協定
2018年9月	富岡市	地域社会づくり連携協力に関する協定
2019年3月	沼田市	連携協力に関する協定
2019年7月	甘楽町	地域づくり連携協力に関する協定
2019年10月	榛東村	地域づくり連携協力に関する協定
2020年7月	吉岡町	吉岡町地域づくり連携協力に関する協定
2020年11月	前橋市	地域社会づくり包括連携協定
2020年11月	嬬恋村	地域づくり連携協力に関する協定
2021年2月	みなかみ町	地域社会づくり包括連携協定
2021年2月	東吾妻町	地域社会づくり包括連携協定
2021年2月	中之条町	地域社会づくり包括連携協定
2021年12月	高崎市	包括連携に関する協定
2022年8月	昭和村	地域づくり連携協力に関する協定
2022年9月	片品村	地域づくりに関する包括連携協定
2022年10月	みどり市	両毛ヤクルト及び群馬ヤクルトとの包括連携協定
2023年1月	南牧村	地域づくり連携協力に関する協定
2023年2月	高山村	地域づくりに関する包括連携協定
2023年3月	長野原町	地域社会づくりに関する包括連携協定
2023年8月	神流町	地域包括連携協定
2023年9月	川場村	包括連携協定
2023年12月	桐生市	両毛ヤクルト及び群馬ヤクルトとの包括連携協定



神流町  
(2023年8月)

●「地域包括連携協定」



川場村  
(2023年9月)

●「包括連携協定」



桐生市  
(2023年12月)

●「両毛ヤクルト及び群馬ヤクルトとの包括連携協定」



TOPIC

特殊詐欺防止啓発旅がらすを配布



特殊詐欺を防ぐため高崎警察署、(株)旅がらす本舗清月堂、群馬ヤクルトの三者が連携。高崎市内のヤクルトスタッフが特殊詐欺防止パッケージの旅がらすを配布、啓発活動を行いました。(2023年11月)

TOPIC

群馬県がん対策連携企業に登録

がん検診の普及啓発や受診勧奨に取り組んでいます。

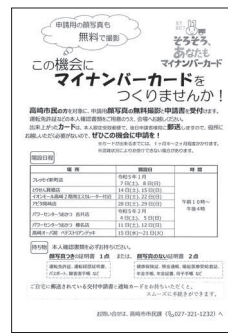


前橋市



日赤跡地生涯活躍のまち(CCR)事業に参画(2022年7月から)

前橋市・高崎市



ヤクルトスタッフがマイナンバー申請促進チラシを配布。(2022年)

高崎市



火災予防運動の広報活動に協力。住宅用火災警報器設置を呼びかけ。

渋川市



ヤクルトスタッフががん検診受診勧奨チラシを配布。

富岡市



富岡製糸場入場チケットの裏面に応援広告を掲載。(2021年から)

安中市



企業版ふるさと納税で野球教室を開催。(2023年)

TOPIC

熱中症アラート発令時のお声掛け

群馬県と協力し熱中症アラートが発令された際、お客さまへ注意喚起のお声かけを行います。

TOPIC

SDGsぐんまビジネスプラクティス認定



群馬ヤクルト販売株式会社  
群馬を元気に 地域とともに

群馬県が持続可能な社会の実現に着目したビジネスを認定する制度です。「地域貢献・地域共創型ビジネス」として認定されました。



TOPIC

ニューイヤー駅伝を応援



元旦のニューイヤー駅伝にヤクルト陸上競技部は11年連続44回出場しています。ヤクルト本社と群馬ヤクルト従事者がコラボして沿道で声援を送ります。

# そ の 他 事 例 報 告

## 共助社会の担い手をめざして

### 事例 1 ヤクルト子ども食堂の開催

#### GENKI★食堂

温かい食事をみんなで楽しく食べる地域交流の場として、ヤクルトのキッズルームを活用したこども食堂を開催しています。地域の皆さまや、様々な企業のご理解、ご協力をいただきながら、2021年10月より毎月第4土曜日に実施しています。



### 事例 2 各団体との協定

#### ①群馬医療福祉大学 と「産学連携協定」

ポールウォーキングの医学的効果の検証や高齢者福祉・介護分野に貢献を目的に、産学連携協定を締結しました。(2023年10月)



ポールウォーキング講座での測定

#### ②群馬県社会福祉協 議会と「包括連携 に関する協定」

地域の見守りや健康教室などを通じて、地域の福祉課題解に貢献します。(2021年2月)



群馬県子ども食堂フェアに参加(2023年1月 群馬県庁)

#### ③群馬県老人クラブ 連合会との「地域 づくり連携協定」

高齢者の健康増進や地域づくりに連携して取り組みます。(2020年7月)



2022年はハツ場ダム周辺、2023年は碓氷峠アプトの道をウォーキング



## 事例3 ポールウォーキング

### 高齢者のフレイル予防や居場所支援

ポールウォーキングは高齢の方でも安全に正しい姿勢で、運動強度を高め歩くことができます。会話も弾み交流の機会も増えるのでフレイル予防に効果的です。2022年から体験会やサークルの支援に取り組んでいます。



## 事例4 スクール連携

### 部活動支援

長期研修で来ている先生や、学校現場の先生方と意見交換を行い、健康課題解決を模索しています。また競技経験者や技能をもった社員が、部活動支援に取り組んでいます。



## 事例5 子ども食堂イベント

### 子ども食堂フェスタ ～まえばし～

2024年1月29日、群馬ヤクルトとケービックス株式会社、前橋市社会福祉協議会が中心となり、市内の子ども食堂に関する団体と協力し開催。試食やワークショップ、コンサートなどを実施しました。



## 事例6 教員の長期研修に協力

### 長期社会体験研修

現役の学校の先生を研修員として迎え、1年単位で業務を体験していただいています。長期社会体験研修という文科省の制度です。従事者にとっても大変よい影響を受けています。(2016年から7名受け入れ)



人も地球も健康に

**Yakult**



### イラストレーター紹介

●真塩喬子(ましお きょうこ)

前橋市出身。本やパンフレットの挿絵、保育園などの絵画指導を行う。2019年はアートミュージアム赤城、高崎スズランなどで個展を開く。群馬ヤクルトの給食用トラック3台にイラストが使用されている。



**群馬ヤクルト販売株式会社**

〒371-0857 群馬県前橋市高井町1-7-1



フリーコール

**0800-700-8960**

受付時間/9:00~17:00(土・日曜日・祝日は除く)

インスタグラムで  
最新情報を投稿中!  
ぜひご覧ください

